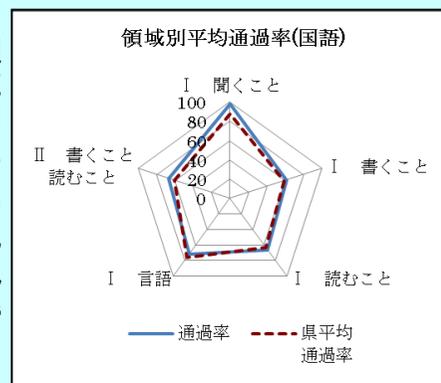
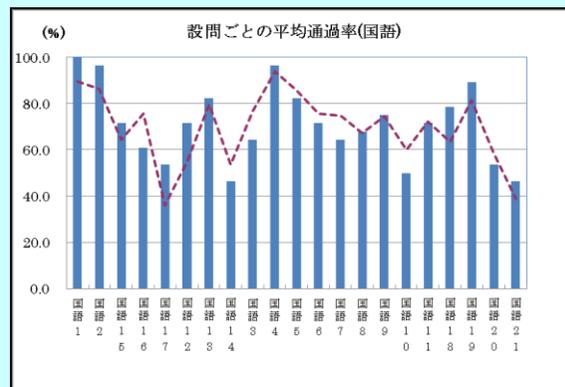


## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.1%, 県 69.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

- 全体的な傾向  
タイプⅠの通過率は72.1%である。(県通過率71.8%) その内「聞くこと」(98.2%)の領域はほぼ力はついているが、他の3領域「書くこと」(61.9%)「読むこと」(66.7%)「言語」(71.4%)の領域の通過率が低い。「書くこと読むこと」の複合的な力が試されるタイプⅡの通過率は67.0%である。(県通過率60.6%) 県との比較においてタイプⅠに対応する力が弱い傾向が見られる。
- 昨年度の課題への取組の成果  
昨年度は、「叙述の仕方の確認」に関する問題が通過率26.7%(県通過率34.3%)と低かった。求められることを明確にして、複数の内容が含まれた文を二文に分ける問題に取組んだ。結果として「叙述の仕方の確認」の通過率が53.6%と高まったが、まだ全体的には低く課題である。(県通過率35.9%)

## 重点課題

- 【課題1】 領域「読むこと」の「要旨の把握(通番14)」に関する問題の通過率が低い。説明文を正しく読みとって、段落ごとに要旨を把握し、端的に短くまとめる力が弱い。本校の通過率46.4%(県通過率53.7%)
- 【課題2】 領域「書くこと」の「文章の構成(通番16)」に関する問題について、「文章構成の組み立て手順と絡めて、示された文の趣旨を読み取り、見出しのキーワードを答える」ことに課題が見られる。本校の通過率60.7%(県通過率75.6%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- 【課題1】 要旨を把握する力がついていない生徒が多いため、様々な文章の要旨を捉えさせる指導を行う。説明文や意見文を短文に要約させたり、物語文のあらすじをまとめさせたりする指導を仕組んでいく。また、文章を何度も反復させて読むことを習慣づけさせる。
- 【課題2】 文章構成の組み立てにおける手順を理解させる。「目的」「設定理由」「調査方法」「調査結果」「考察」「まとめ」という組み立ての流れを理解するとともに、まとめてある内容を読んでそれが何を意味しているのかを正しく捉える指導を仕組んでいく。

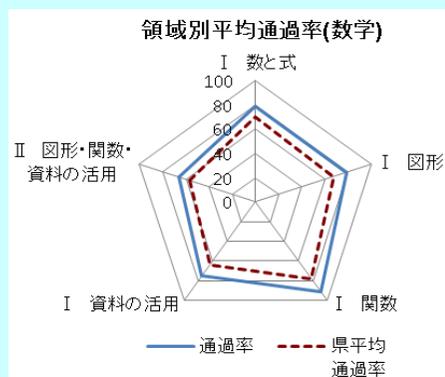
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 H28 基礎・基本1回目	2年生 H28 基礎・基本2回目			1年生 H28 基礎・基本1回目	1年生 H28 基礎・基本2回目	
目標値	50%	70%			50%	70%	
実施後数値							

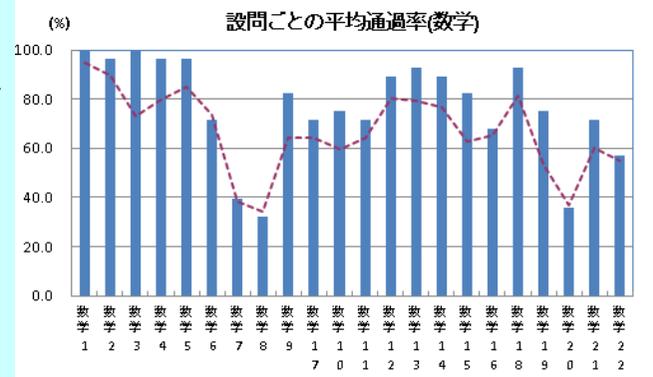
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 H28 基礎・基本1回目	2年生 H28 基礎・基本2回目			1年生 H28 基礎・基本1回目	1年生 H28 基礎・基本2回目	
目標値	65%	75%			65%	75%	
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校76.6%, 県66.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

### ○全体的な傾向

数学教科全体通過率は 76.6%, タイプ I の通過率は 79.6% (数と式 78.6%, 図形 78.6%, 関数 91.1%, 資料の活用 75.0), タイプ II (図形・関数・資料の活用) の通過率は 66.4% であった。無答率については, タイプ I では 0.0%, タイプ II では 2.1%, 全体では 0.5% と低かった。基礎的・基本的な内容については概ね定着が図られていると思われるが, 割合に関する知識・理解の通過率が低い。

### ○昨年度の課題への取組の成果と課題

昨年度は資料の活用についての知識・理解の通過率が 55.0% と不十分であった。授業での教材や活動の工夫, 家庭学習等の取組みにより, 今年度の通過率は +20 ポイントの改善が見られた。

## 重点課題

### 【課題 1】

[2](1) 比較量は, (基準量) × (割合) で求められることを理解し, 数量の関係を文字を用いた式で表す問題で, 誤った選択をした生徒が 60.7% (正答率 39.3%)  
 (2) の問題も同様

### 【課題 2】

[10](2) 事象を式の意味に即して解釈し, その結果について考える問題で, 結論は正しいが誤った理由を選択をした生徒が 50.0% (正答率 35.7%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題 1】

割合の概念を正しく定着させるため, 文字式の学習場面で小学校内容の学び直しの時間を十分取る。また, 文字式の場面への適用が定着するよう, 具体数での練習をもとに文字式場面への適用に取り組ませるとともに, 文字式の学習の終了後も, 家庭学習等で定期的に割合問題に関する課題に取り組ませる。

### 【課題 2】

一定のまとまりのある問題文を読み取る力, 結論とその理由の選択肢について列挙された文章の共通点や相違点に着目しながら読み取る力を伸ばすため, 各単元で長文をもとにした活用問題を工夫し, 取り組ませる。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年・H28[2]			2年・市学力到達度検査 割合問題	1年・H28[2]	
目標値		60%			60%	60%	
実施後数値							

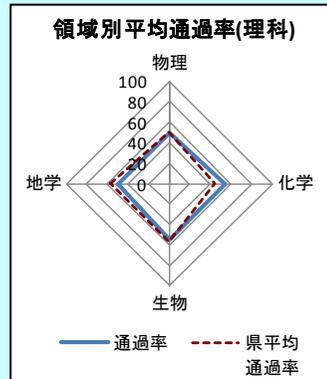
  

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年・H28[10](2)			1年・H28[10](2)	
目標値			60%			60%	
実施後数値							

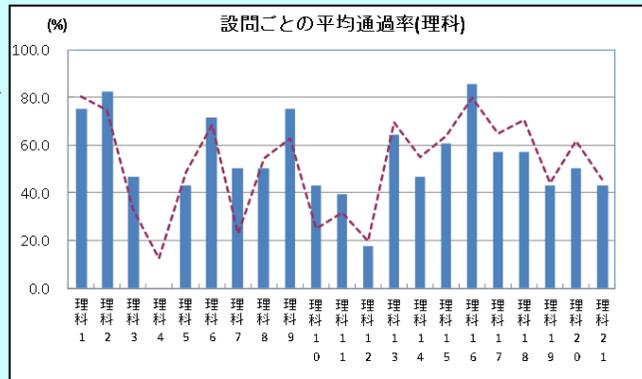
# 指導方法等の改善計画について [理科]

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 52.4%, 県 51.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

- 全体的な傾向  
 タイプⅠは、物理 40.5%、化学 56.0%、生物 57.1%、地学 54.8%の通過率であった。この結果から化学、生物、地学分野の基礎的・基本的な内容はおおむね定着が図られている。一方、物理分野では、実験観察の技能などが十分身につけていない状況がある。  
 タイプⅡは、物理 62.5%、化学 53.6%、生物 51.8%、地学 42.9%の通過率であった。地学を除く分野で、活用力は概ね定着もしているようである。しかし、生物や地学分野で根拠をもとに推定したり、説明する力が十分身につけていない。
- 昨年度の課題への取組の成果  
 昨年度は、観察・実験の操作がどのような意味を持つのか、また、根拠を明らかにしながら考察することを司式しながら指導を行ってきた。その結果、若干の改善傾向はみられるが、科学的な用語を用いて表現する力はまだまだ、不十分である。

## 重点課題

### 【課題 1】

物理分野の力の三要素を理解し、作図する問題では、特に作用点の位置の理解が不十分で正しく作図することができていない。  
 本校の生徒の通過率 0%。(県通過率 12.2%)

### 【課題 2】

地学分野の震源からの距離が初期微動継続時間に比例していることを使って震源地を推定することが十分できていない。  
 本校の通過率 42.9% (県通過率 44.2%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題 1】

物理分野の力学の内容で、特に 1, 3 年生のが学習において「何が何にはたらいている力なのか」、また「どこにはたらいているのか」を意識させるよう、学習支援を行う。また、作図をしながら思考するよう指導する。

### 【課題 2】

1 年の地震波の学習において実際の地震のデータを使い、伝わる速さや初期微動継続時間を求めることを通してデータの処理や考察する実習を重点的に行う。

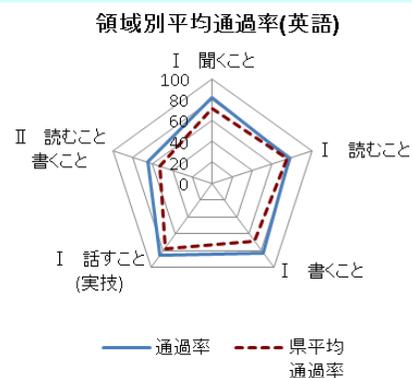
【課題 1】	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学年・方法	2 年実力テスト		2 年復習テスト		1 年生期末テスト		
目標値	50%		60%		70%		
実施後数値							

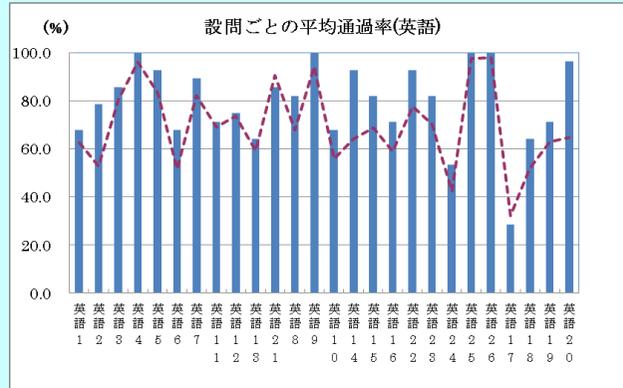
【課題 2】	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学年・方法	2 年実力テスト		2 年復習テスト				1 年生期末テスト
目標値	50%		60%				70%
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.4%, 県 69.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

### ○全体的な傾向

英語科の結果において、タイプⅠは82.0%、タイプⅡは65.2%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については概ね定着し理解できているように考えられる。しかし、タイプⅡの活用問題になると誤答率も高くなっている。根拠をもって理由を読み取る理解の能力やつながりのある英文を書く表現の能力などの活用力が不十分である。

### ○昨年度の課題への取組の成果

昨年度は、「基本的な文の決まりを理解した英作文」に課題が見られた。そこで、会話カードを使って疑問文を使う機会を増やし、帯学習で基本的な英文のインプットに取り組んだ。その結果として、通過率が35%伸び、成果が見られた。

## 重点課題

【課題1】情報を基に、それに関連する質問を文と文のつながりを考えて英文を書く。(通過率 28.6%)

前後の文のつながりを考えて、適切な文を入れることができていない。  
また、疑問詞を使った疑問文の基本的な文構造を理解していない。

【課題2】根拠をもって、理由を読み取る。(通過率 64.3%)

広告に書かれている情報ややや長い対話文の中から、答えを導き出すための適切な情報を読み取ることができていない。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】教科書本文理解の際、生徒が指導者側からの質問に答えるだけでなく、本文内容に関わる質問文を生徒が作る練習を行わせる。また、対話文の空所に入る適切な英文を考えさせたり、ペアで文のつながりや相手を意識した自然な対話を考えて発表したりするなどの表現活動にも取り組ませる。その際、疑問文の基本的な文の作り方を再度指導し、文構造定着のためのドリル練習を取り入れる。

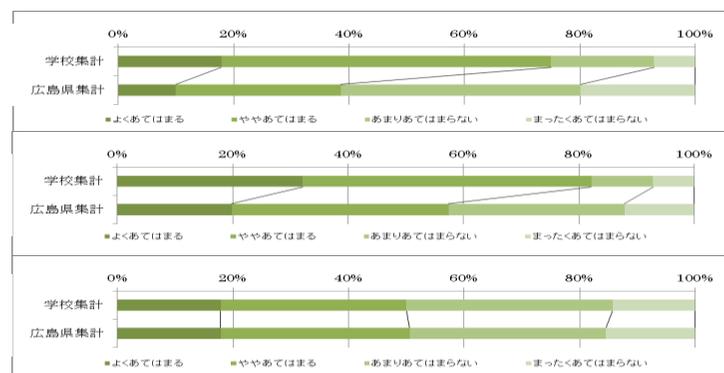
【課題2】教科書本文の発問に対する答えを確認する際に、答えだけではなく、なぜその答えになったのか理由も含めて答える練習を行わせる。答えを導き出す際にキーワードとなる単語や英文に線を引きながら読ませ、適切な情報を読み取る練習を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生中間試験		2年生期末試験			2年生学年末試験
目標値		50%		60%			70%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生中間試験		2年生期末試験			2年生学年末試験
目標値		65%		70%			70%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

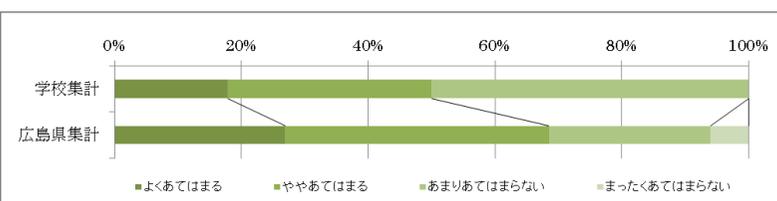
予習  
復習  
計画



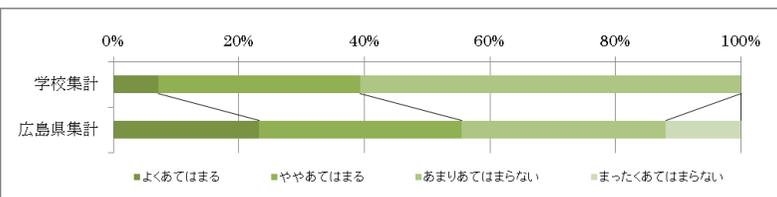
(1) 生活・学習 生徒の回答についての 課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施 数値	現状から の伸び
授業の予習については75%、復習については82.1%の生徒が取組んでいるという結果が出たが、自分で勉強の計画を立てて取り組んでいると答えた生徒は50%だった。家庭学習が日々の授業の予習・復習に留まり、計画的に学習を進めようとする意識は低いと考える。	授業の予習や復習については引き続き取組を継続し、さらに生徒自ら計画的に学ぼうとする意欲に繋がる取組を行っていく。試験や行事の予定を示すことや学習全体の見通しを持たせることで、計画的に学習を進めていく力を身につけさせる。	全学年	60%	生徒アンケート	2月		

(2) 教科

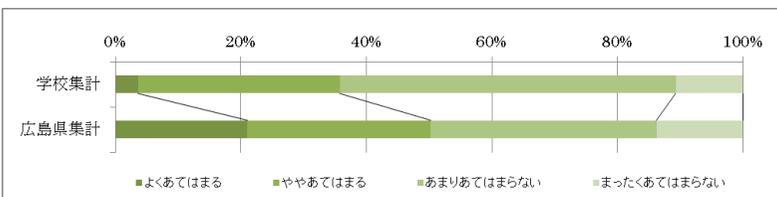
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



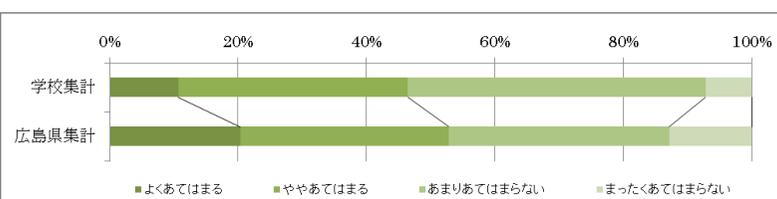
数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモをとったり感想や意見を話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての 課題 (現状値)	授業改善の方向性や 具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施 数値	現状から の伸び
国語	「国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。」 (50.0%)	文を読む時に、段落相互のつながりを考えること、また、読後に、文全体の組み立てを考える活動を仕組む。	2	60%	生徒アンケート	2月		
数学	「数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。」 (39.3%)	式の意味を考えさせたり、式から問題を作らせたりする活動を仕組み、計算式や関数式から具体的事象を想起するような工夫を行う。	2	60%	生徒アンケート	2月		
理科	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」 (35.7%)	仮説を立てたり、観察・実験の考察をする場面で、個人で思考する時間をしっかり取り、小グループで意見交流する場を意図的に作る。	2	60%	生徒アンケート	2月		
英語	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモをとったり感想や意見を話したり書いたりしています。」 (46.4%)	教科書の本文内容だけでなく、他者（仲間）が書いた英文を聞いたり読んだりさせる。その後、自分の意見を書かせたり、感想を伝えあわせたりする活動を仕組む。	2	60%	生徒アンケート	2月		